

総合科学技術会議が実施する 競争的研究資金制度の評価について(案)

研究者の研究費の選択の幅と自由度を拡大し、競争的な研究開発環境の形成を促す競争的研究資金については、第2期科学技術基本計画期間中の倍増を目指して拡充が図られる中で、その一層効果的・効率的な実施が求められている。

このため、総合科学技術会議において、個別の競争的研究資金制度の成果等の検討を通じて、その有効性や問題点等を明らかにするための評価を実施し、国民に向けて適切な説明を行うとともに、評価結果を平成16年度の政府予算案編成等に反映させる。

1. 評価対象

資金規模が大きいなど各府省の代表的な競争的研究資金制度

2. 評価方法

以下の項目について検討する。

- ①採択課題・資金配分の状況
- ②研究成果及びその他の効果、等

評価においては、制度の目的や投入予算に照らして、適切な課題採択や資金配分がなされ、十分な成果が得られているかを基準に、その有効性や問題点等を判断する。

3. 評価時期および体制

平成15年5月末迄に競争的研究資金の配分機関(府省もしくは法人)で対象制度の成果等に係る評価を行い、その評価結果を基に6月初めより評価専門調査会で調査・検討し、7月を目途に総合科学技術会議で評価結論を得る。